

某口腔保健センターにおける来院中断患者の
中断要因に関するアンケート
報告書

令和4年3月

東京都立心身障害者口腔保健センター

1 調査の概要

(1) 調査の目的

東京都立心身障害者口腔保健センターへの来院が一定期間中断している患者の中断理由や中断後の他歯科医療機関への通院状況を把握し、課題を明らかにすることで、患者の要望に沿ったより良い歯科診療体制や歯科受診の中断防止対策を講ずることを目的に本調査を実施した。

(2) 調査対象

令和3年3月末日までに5年以上10年未満（平成23年3月から平成28年3月まで）、当センターでの診療を中断している者のうち、転医・転居・死亡連絡のあった者、80歳以上の者（令和3年3月1日時点）を除いた634名を調査対象とした。回答者は患者および介護者とした。

(3) 実施方法

本調査は、8020 運動・口腔保健推進事業「調査研究事業」として東京都が東京都歯科医師会（指定管理者）に委託し、東京都立心身障害者口腔保健センターにおいて企画・実施した。

(4) 調査期間

令和3年11月15日から令和3年12月末まで

(5) 調査内容

調査用紙（14項から17項）のとおり

(6) 調査方法

ア 郵送による配布・回収

イ 回答者（患者及び介護者）による自記式

(7) 倫理的配慮

本調査は、日本障害者歯科学会倫理審査委員会の承認を得て実施した。

【承認番号】21016

【承認日】2021年11月5日

2 結果

本調査は、過去に当センターを受診していた患者 634 名に対して実施した。アンケート回収総数 353 件のうち宛先不明、死亡、無効回答を除いた有効回答数は 160 件（有効回答率 25.0%）であった。

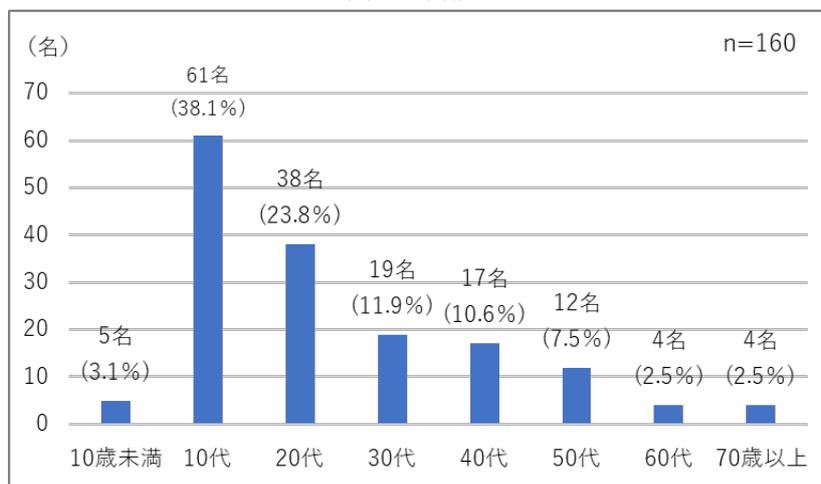
アンケート用紙を末尾に別添する。

1) 患者の概要

(1) 年齢

図 1 に患者の年齢を示す。「10代」61名（38.1%）が最も多く、次いで「20代」38名（23.8%）、「30代」19名（11.9%）、「40代」17名（10.6%）、「50代」12名（7.5%）、「10歳未満」5名（3.1%）、「60代」、「70歳以上」は同数の4名（2.5%）であった。

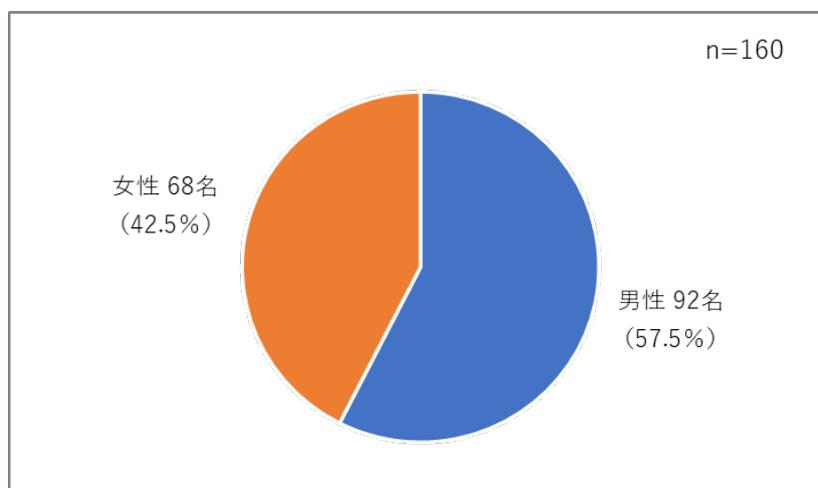
図1 年齢



(2) 性別

図 2 に患者の性別を示す。「男性」92名（57.5%）、「女性」68名（42.5%）であった。

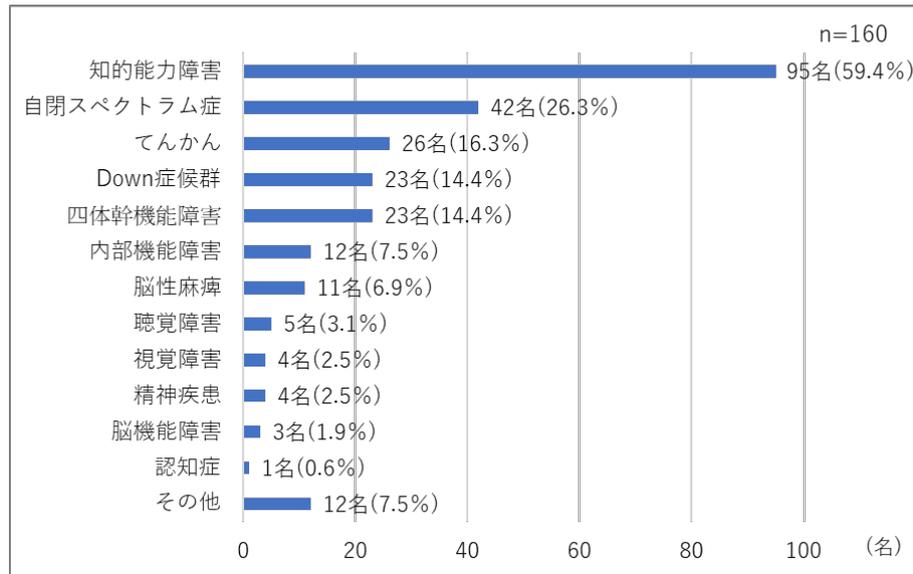
図2 性別



(3) 障害の種別（重複あり）

図3に障害の種別を示す。「知的能力障害」95名（59.4%）が最も多く、次いで「自閉スペクトラム症」42名（26.3%）、「てんかん」26名（16.3%）、「Down症候群」、「四肢体幹機能障害」が同数の23名（14.4%）、「内部機能障害」12名（7.5%）、「脳性麻痺」11名（6.9%）、「聴覚障害」5名（3.1%）、「視覚障害」、「精神疾患」が同数で4名（2.5%）、「脳機能障害」3名（1.9%）、「認知症」1名（0.6%）、「その他」12名（7.5%）であった。

図3 障害の種別（重複あり）



(4) 障害者手帳の有無と種別（重複あり）

回答者の146名（91.3%）が障害者手帳を取得していた。（図4-1）

図4-2に障害者手帳の種別を示す。障害者手帳を取得している者のうち、「療育手帳」取得者120名（82.2%）、「身体障害者手帳」取得者45名（30.8%）、「精神障害者保健福祉手帳」取得者11名（7.5%）であった。

各障害者手帳で最も多い等級は、療育手帳が「重度」71名（59.2%）、身体障害者手帳が「1級」26名（57.8%）、精神障害者保健福祉手帳が「2級」7名（63.6%）であった（図4-3～4-5）。

図4-1 障害者手帳の有無

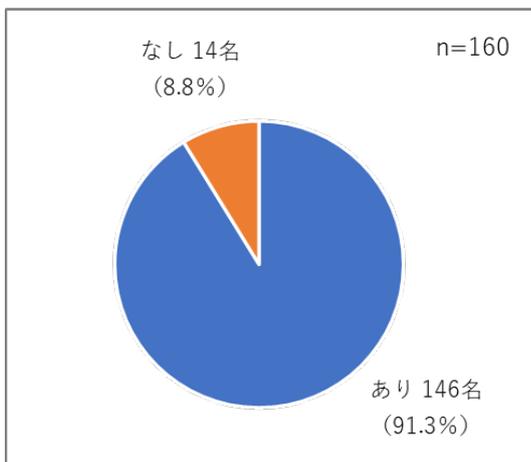


図4-2 障害者手帳の種別（重複あり）

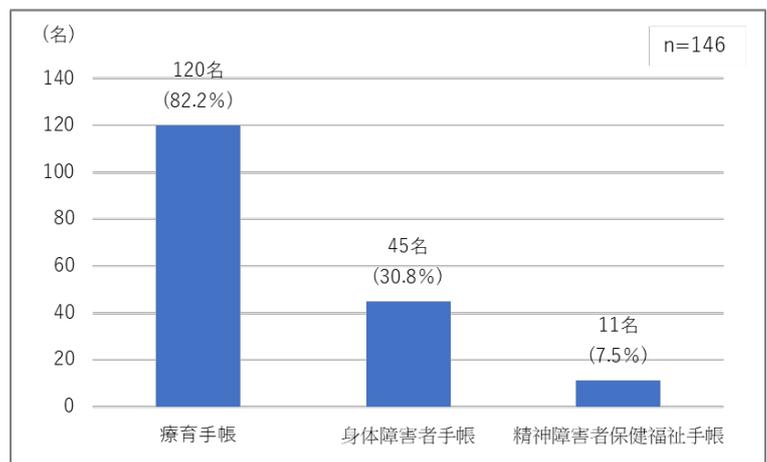


図4-3 療育手帳の等級

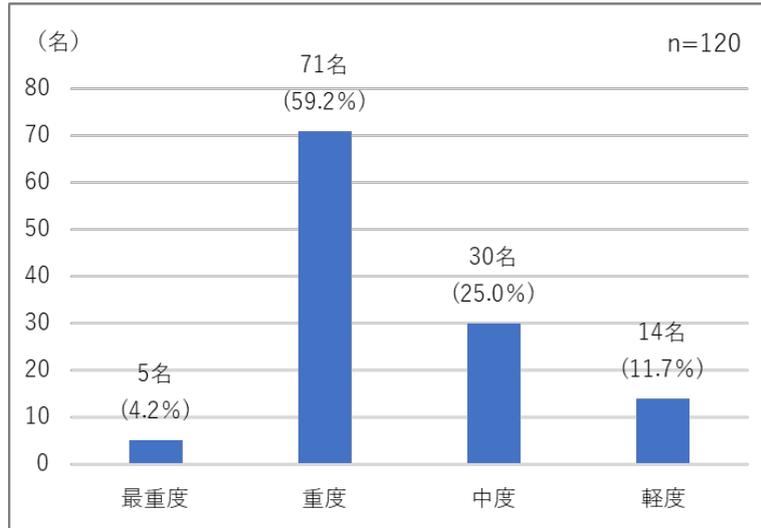


図4-4 身体障害者手帳の等級

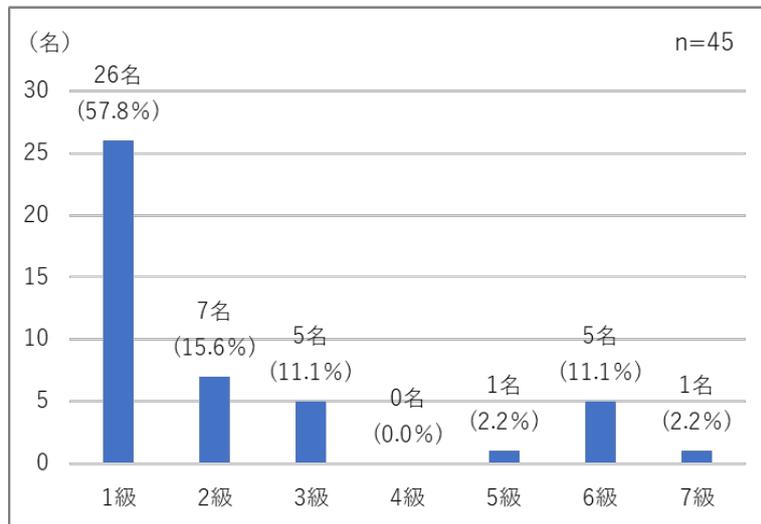
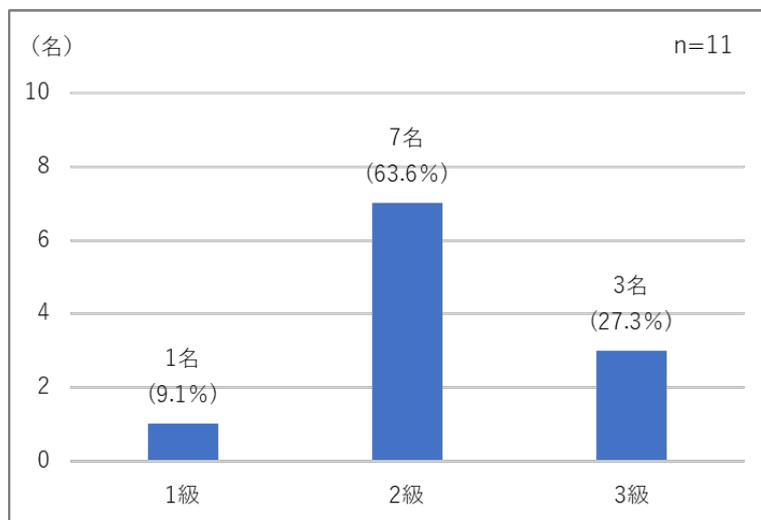
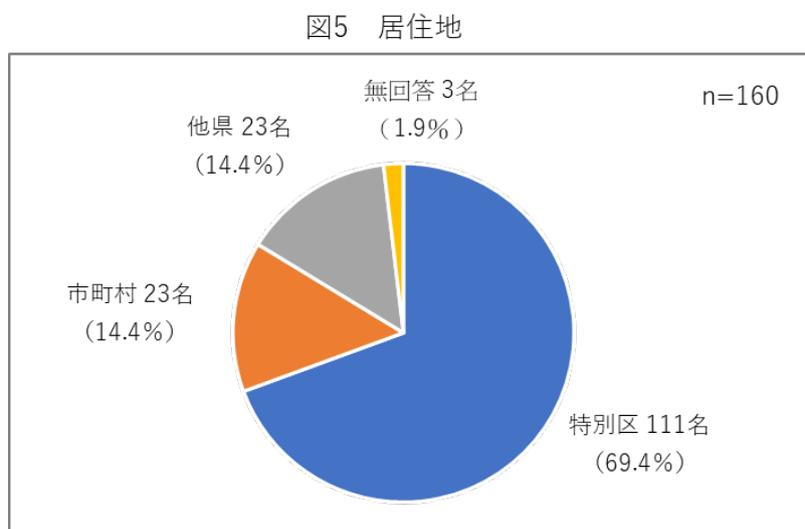


図4-5 精神障害者保健福祉手帳の等級



(5) 居住地

図5に患者の居住地を示す。「特別区」111名(69.4%)が最も多く、次いで「市町村」、「他県」は同数の23名(14.4%)、「無回答」3名(1.9%)であった。

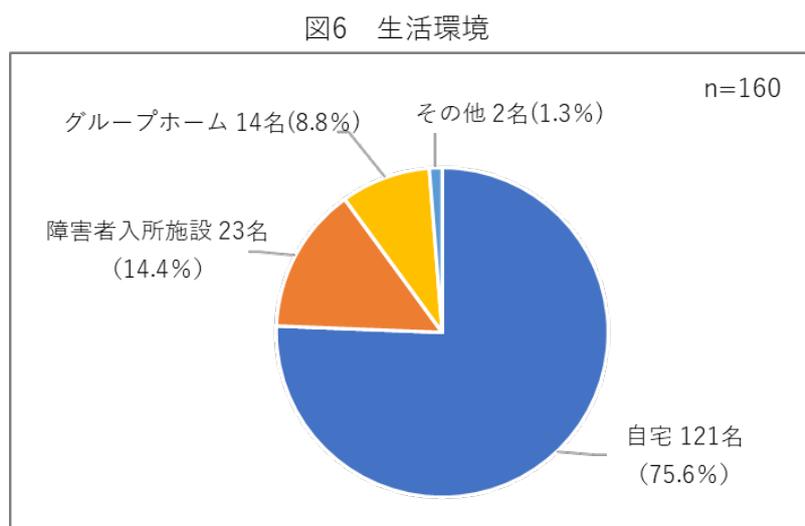


(内訳 関東近県：20名、それ以外3名)

(6) 生活環境

図6に患者の生活環境を示す。「自宅」での生活者121名(75.6%)が最も多く、次いで「障害者入所施設」23名(14.4%)、「グループホーム」14名(8.8%)、「その他」2名(1.3%)であった。

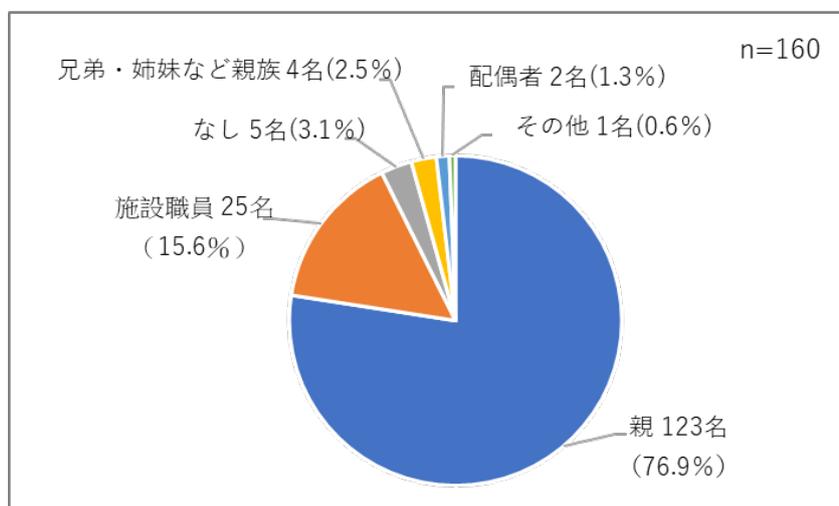
「高齢者入所施設」での生活者はいなかった。



(7) 主な介護者

図7に患者を主に介護している者を示す。「親」123名(76.9%)が最も多く、次いで「施設職員」25名(15.6%)、「兄弟・姉妹など親族」4名(2.5%)、「配偶者」2名(1.3%)、「その他」1名(0.6%)であった。一方、「介護者がいない者」は5名(3.1%)であった。

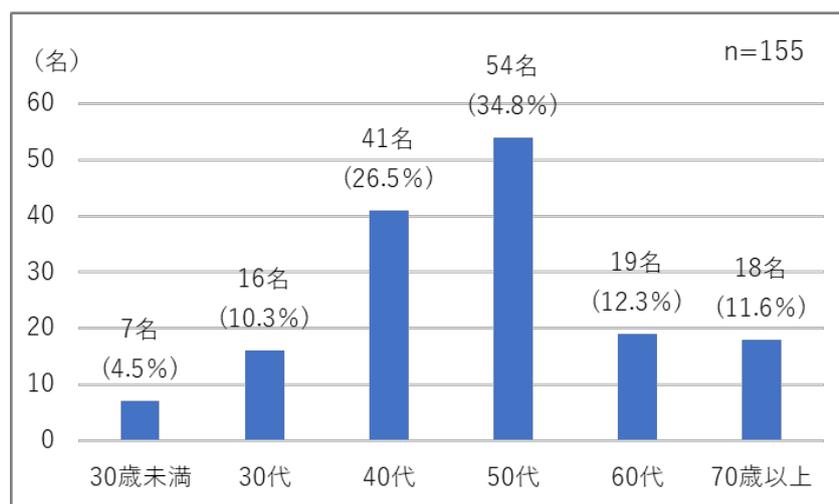
図7 主な介護者



(8) 介護者の年齢

図8に介護者の年齢を示す。「50代」54名(34.8%)が最も多く、次いで「40代」41名(26.5%)、40代・50代が全体の約6割を占めた。「60歳以上」は37名(23.9%)、「30代以下」は23名(14.8%)であった。

図8 介護者の年齢

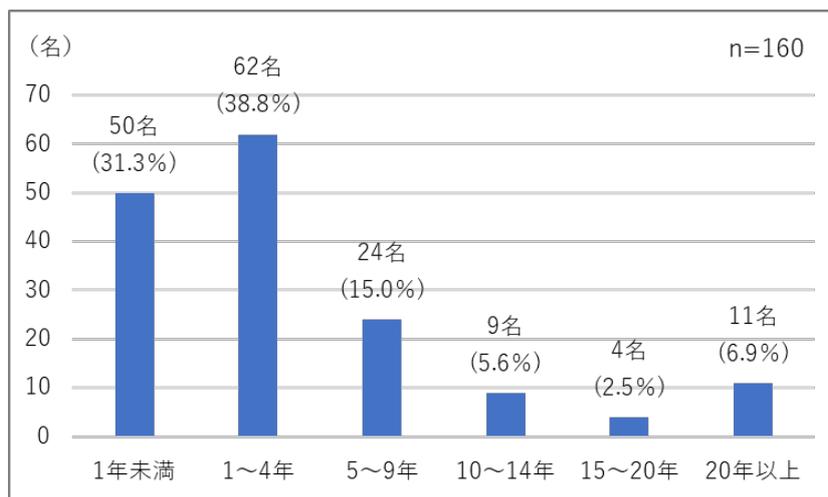


2) 当センターへの通院について

(1) 当センターに通院していた年数

図9に患者の通院年数を示す。「1～4年」62名(38.8%)が最も多く、次いで「1年未満」50名(31.3%)であり、5年未満の者が7割を占めた。次いで「5～9年」24名(15.0%)、「20年以上」11名(6.9%)、「10～14年」9名(5.6%)、「15～20年」4名(2.5%)であった。

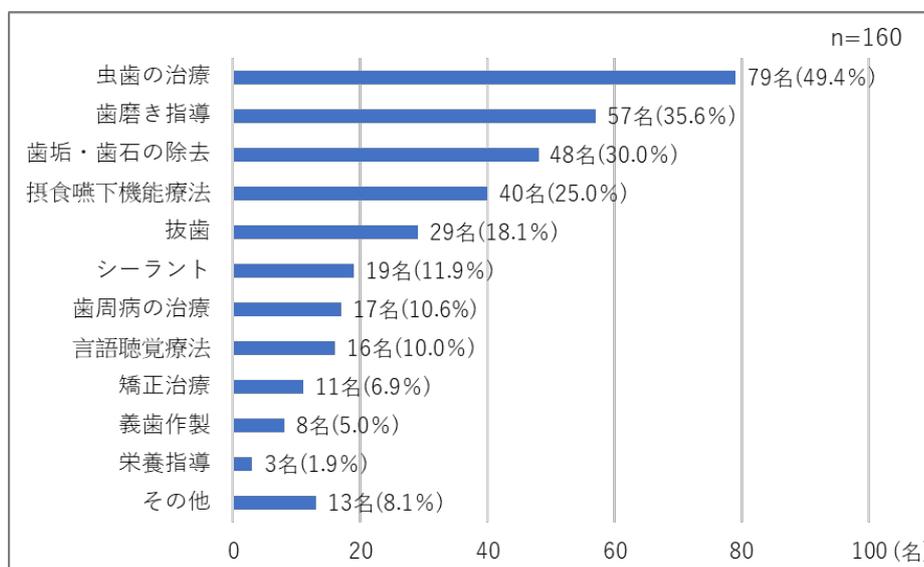
図9 当センターに通院していた年数



(2) 当センターで行った診療内容(複数回答可)

図10に当センター通院期間中に受けた診療内容を示す。「虫歯の治療」79名(49.4%)が最も多く、次いで「歯磨き指導」57名(35.6%)、「歯垢・歯石の除去」48名(30.0%)、「摂食嚥下機能療法」40名(25.0%)、「抜歯」29名(18.1%)、「シーラント」19名(11.9%)、「歯周病の治療」17名(10.6%)、「言語聴覚療法」16名(10.0%)、「矯正治療」11名(6.9%)、「義歯作製」8名(5.0%)、「栄養指導」3名(1.9%)、「その他」13名(8.1%)であった。

図10 当センターで行った診療内容(複数回答可)



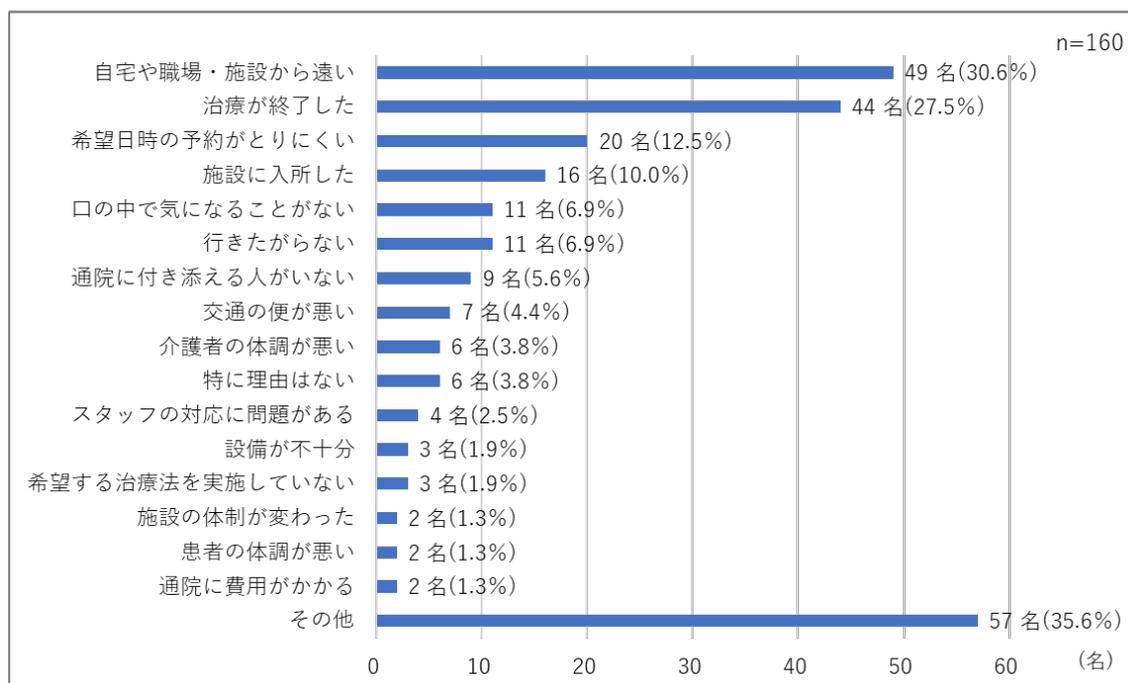
(3) 通院を中断した理由（複数回答可）

図 11 に当センターへの通院を中断した理由を示す。最も多い中断理由は、「自宅や職場・施設から遠い」49名（30.6%）であった。次いで「治療が終了した」44名（27.5%）、「希望日時の予約がとりにくい」20名（12.5%）、「施設に入所した」16名（10.0%）、「口の中で気になることがない」、「行きたがらない」が同数の11名（6.9%）、「通院に付き添える人がいない」9名（5.6%）、「交通の便が悪い」7名（4.4%）、「介護者の体調が悪い」、「特に理由はない」が同数の6名（3.8%）、「スタッフの対応に問題がある」4名（2.5%）、「設備が不十分」、「希望する治療法を実施していない」が同数の3名（1.9%）、「施設の体制が変わった」、「患者の体調が悪い」、「通院に費用がかかる」が同数の2名（1.3%）であった。

その他の理由では、コロナ禍での通院不安が多数挙げられた。

地域の歯科医療機関へ円滑に移行できている理由としては、訪問歯科の利用や通所先での歯科検診を受診しているから、当センターで歯科診療に慣れたために自ら受診した歯科医院での診療が可能になった、などの回答が得られた。

図11 当センターへの通院を中断した理由（複数回答可）



3) 現在の口腔内と歯科通院について

(1) 歯や口に関して気になること（複数回答可）

現在、歯や口に関して「気になることがある」と回答した者は93名（58.1%）、「気にならない」と回答した者は67名（41.9%）であった（図12）。

歯や口に関して気になることがあると回答した者の内訳を図13に示す。「歯垢や歯石がたまっている」42名（45.2%）が最も多く、次いで「歯肉の腫れ・出血がある」19名（20.4%）、「食べ方・飲み込み方に関すること」18名（19.4%）、「虫歯がある」17名（18.3%）、「詰め物がとれている」、「義歯の不具合がある」が同数の4名（4.3%）、「その他」33名（35.5%）という結果になった。

その他の詳細では、歯並びやかみ合わせに関すること、歯ぎしり、セルフケアの困難さ、などの回答が多かった。

図12 歯や口に関して気になることの有無

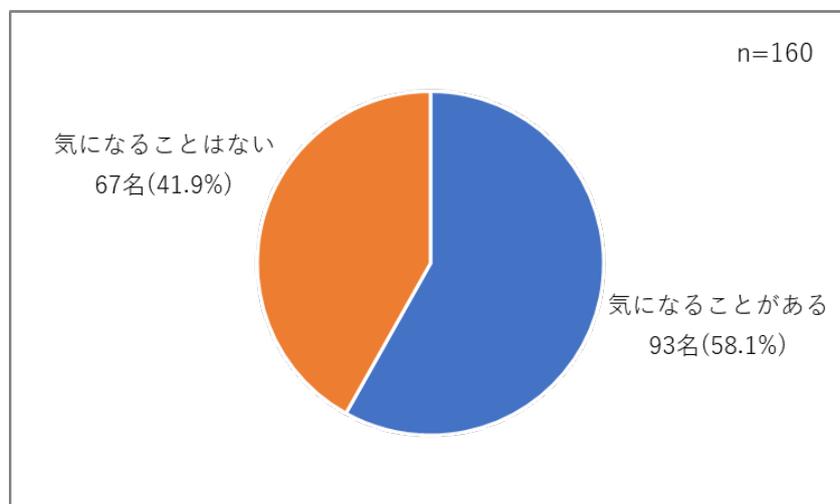
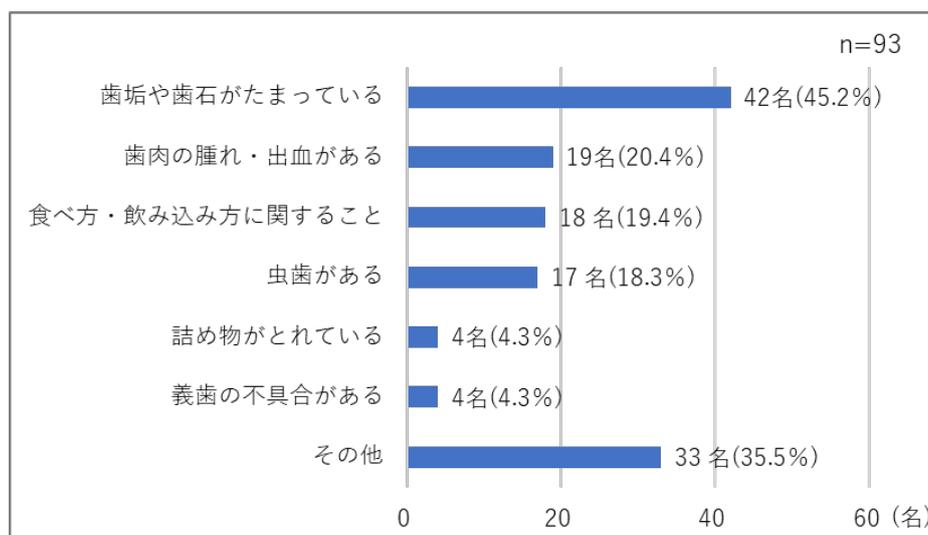


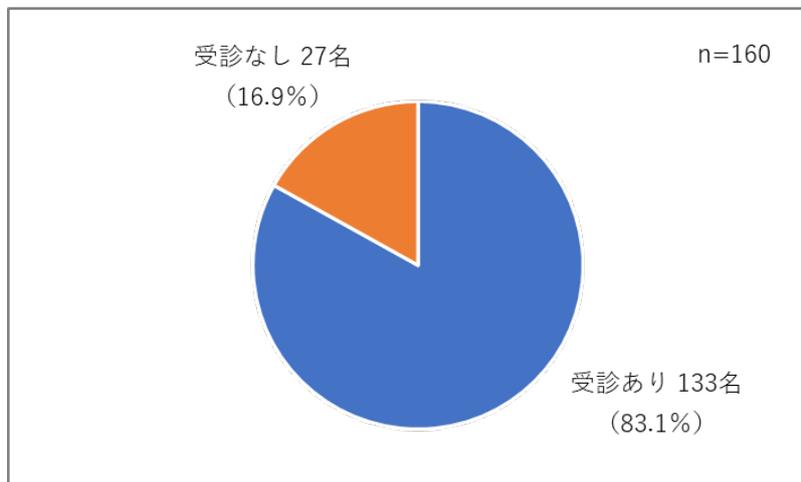
図13 歯や口に関して気になること（複数回答可）



(2) 当センター通院中断後の他歯科医療機関への受診状況

図14に当センター通院中断後の他歯科医療機関への受診状況を示す。他歯科医療機関を「受診した」と回答した者は133名(83.1%)、一度も「受診していない」と回答した者は27名(16.9%)であり、約8割が中断後も歯科を受診できているという結果となった。

図14 当センター通院中断後の他歯科医療機関への受診状況



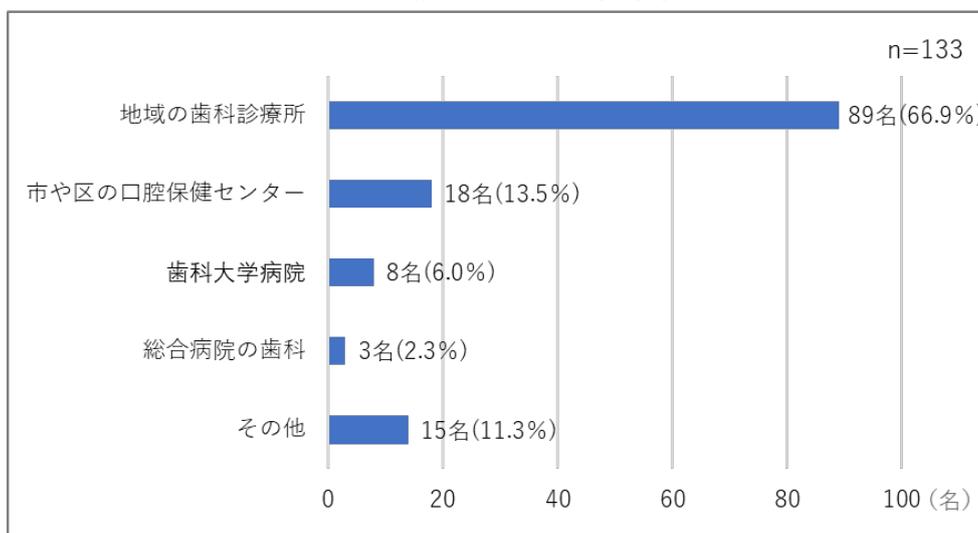
4) 当センター通院中断後に他歯科医療機関を受診した患者について

(1) 受診した歯科医療機関種別

図15に当センター通院中断後に受診した歯科医療機関を示す。当センターへの通院中断後に新たに受診した歯科医療機関で最も多かったのは「地域の歯科診療所」89名(66.9%)であった。次いで「市や区の口腔保健センター」18名(13.5%)、「歯科大学病院」8名(6.0%)、「総合病院の歯科」3名(2.3%)、「その他」15名(11.3%)であった。

その他の詳細では、通所・入所施設のかかりつけ歯科、訪問歯科、療育センターの歯科、などの回答があった。

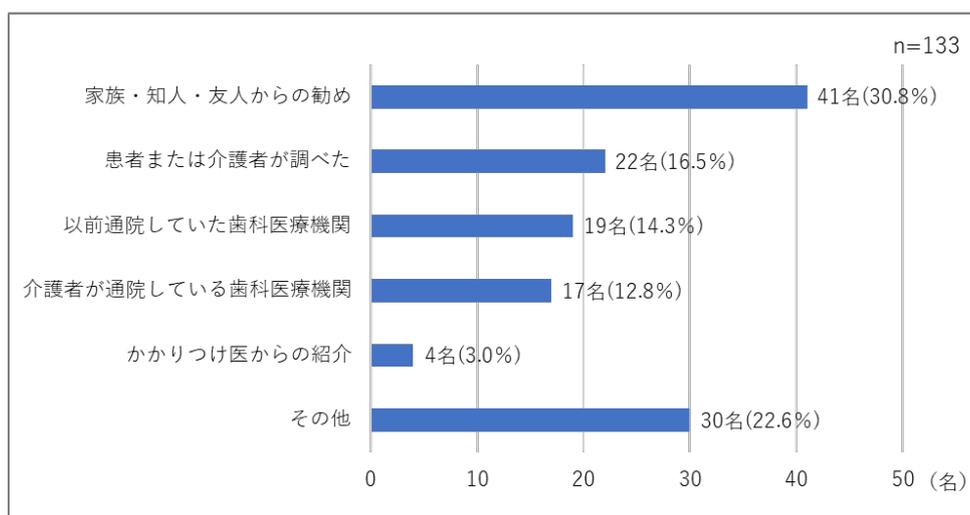
図15 受診した歯科医療機関種別



(2) 受診した歯科医療機関の選定方法

図16に新たに受診した歯科医療機関の選定方法を示す。「家族・知人・友人からの勧め」41名(30.8%)が最も多く、次いで「患者または介護者が調べた」22名(16.5%)、「以前通院していた歯科医療機関」19名(14.3%)、「介護者が通院している歯科医療機関」17名(12.8%)、「かかりつけ医からの紹介」4名(3.0%)、「その他」30名(22.6%)であった。その他の詳細では、通所・入所施設や学校からの情報提供があり受診した、区の広報紙から情報を得て受診した、などの回答があった。

図16 受診した歯科医療機関の選定方法

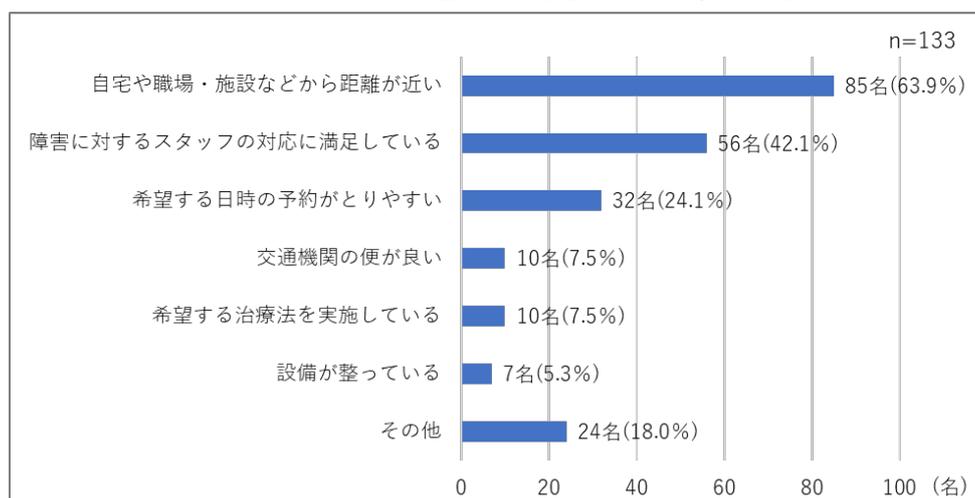


(3) 受診した歯科医療機関を選んだ理由(複数回答可)

図17に受診した歯科医療機関を選んだ理由を示す。「自宅や職場・施設などから距離が近い」85名(63.9%)が最も多く、次いで「障害に対するスタッフの対応に満足している」56名(42.1%)、「希望する日時予約がとりやすい」32名(24.1%)、「交通機関の便が良い」、「希望する治療法を実施している」が同数の10名(7.5%)、「設備が整っている」7名(5.3%)、「その他」24名(18.0%)という結果になった。

その他の詳細では、治療方針が分かりやすかった、料金に納得できた、信頼できる先生だった、学校歯科医だったから、通所・入所施設のかかりつけ歯科医だったから、訪問歯科なので自宅に来てくれて楽だから、などの回答があった。

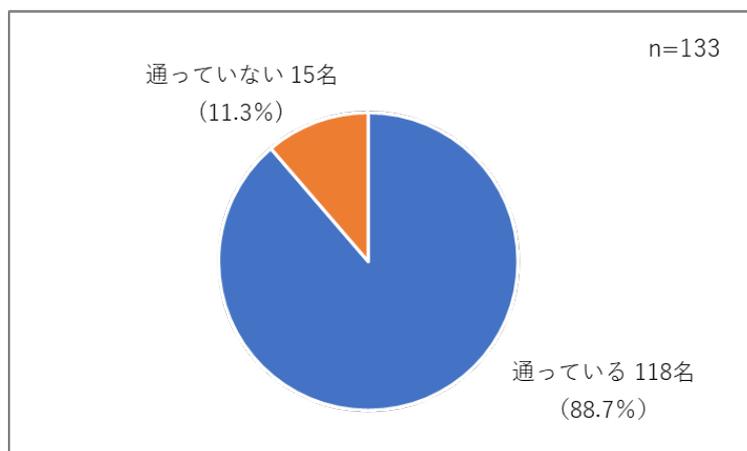
図17 受診した歯科医療機関を選んだ理由(複数回答可)



(4) 歯科への通院継続状況

図 18 に歯科への通院継続状況を示す。新たに歯科医療機関を受診した者の中で、現在も歯科へ「通院している者」は 118 名 (88.7%) であった。一方で、再び「通院を中断している者」は 15 名 (11.3%) であった。

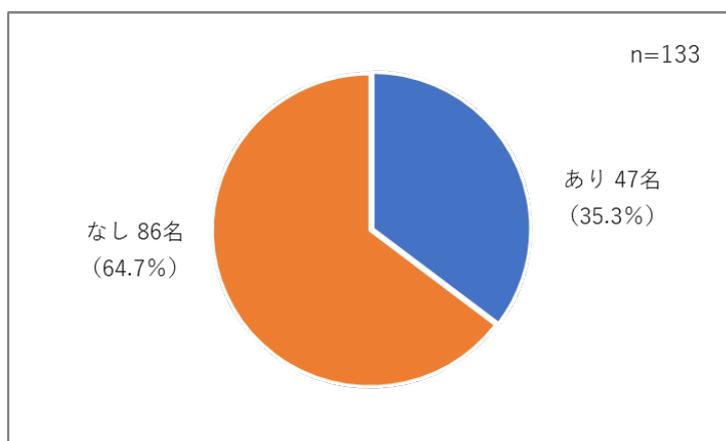
図18 歯科への通院継続状況



(5) 今後の当センターへの通院希望

図 19 に今後の当センターへの通院希望を示す。再度当センターに「通院したい」と回答した者は 47 名 (35.3%)、「通院希望なし」と回答した者は 86 名 (64.7%) であった。

図19 今後の当センターへの通院希望



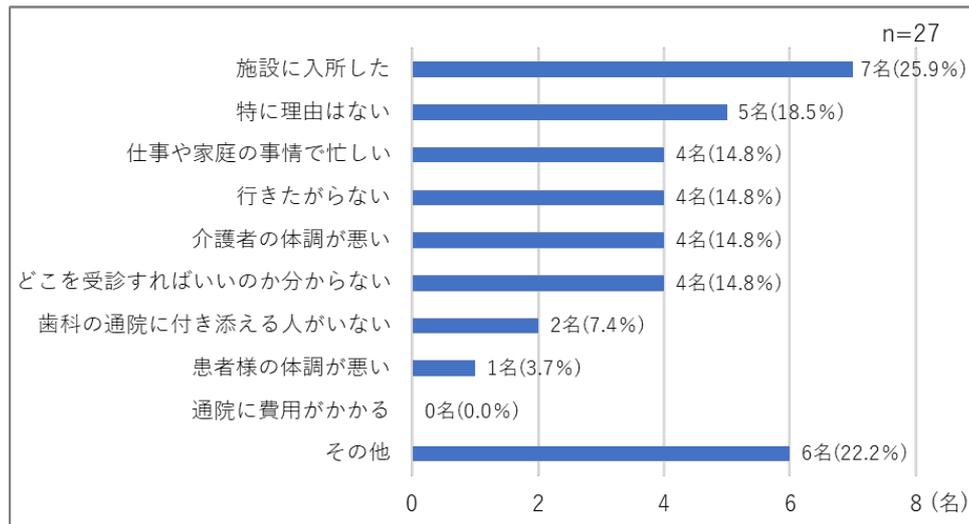
5) 当センター通院中断後に他歯科医療機関を受診していない患者について

(1) 歯科に通っていない理由 (複数回答可)

図 20 に歯科に通っていない理由を示す。当センターへの通院中断後、一度も歯科を受診していない理由では、「施設に入所した」7 名 (25.9%) が最も多く、次いで「特に理由はない」が 5 名 (18.5%)、「仕事や家庭の事情で忙しい」、「行きたがらない」、「介護者の体調が悪い」、「どこの歯科医療機関を受診すればいいのか分からない」が同数の 4 名 (14.8%)、「歯科の通院に付き添える人がいない」が 2 名 (7.4%)、「患者様の体調が悪い」が 1 名 (3.7%)、「その他」が 6 名 (22.2%) であった。

その他の詳細では、コロナ禍のため、通所施設での歯科検診で問題がないため、などの回答があった。

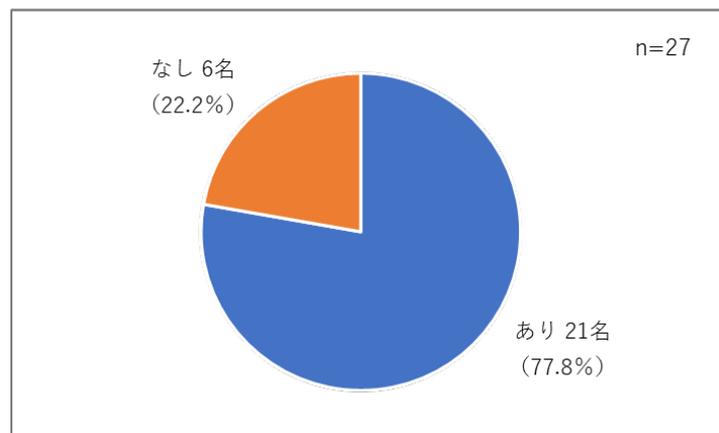
図20 歯科に通っていない理由（複数回答可）



(2) 今後の当センターへの通院希望

図 21 に今後の当センターへの通院希望を示す。再度当センターに「通院したい」と回答した者は 21 名（77.8%）、「通院希望なし」と回答した者は 6 名（22.2%）であった。

図21 今後の当センターへの通院希望



障害児・者の歯科通院は、ライフステージや自身の心身状態に加えて、生活環境や通院に付き添う介護者の状況など、患者を取り巻く環境の影響を受けやすいと考える。

今回の調査では、最も多い通院中断理由が、「自宅や施設・職場から遠い」であり、新たに受診した歯科医療機関を選んだ理由では、「自宅や施設・職場から近い」であった。このことから、患者や介護者にとって生活圏内でかかりつけ歯科を持つことが継続的な歯科受診に関連していると推察した。

また、当センター受診中断した者の約 8 割が他の歯科医療機関を受診し、そのうち約 6 割が地域の歯科診療所を継続受診していた。この結果から、円滑な地域移行の推進には、現在当センターに通院している患者に対しても、早期から地域移行のニーズを聴取し、受診可能な地域の歯科医療機関の情報提供を行いながら、患者のライフステージや生活環境を考慮した地域移行計画を立てていくことが必要だと思われる。

地域での障害者歯科医療の普及も重要な課題であり、障害児・者が生涯を通じて、安心して歯科通院できる環境作りを目指すために、今後も当センターでは地域との医療連携の推進と研修事業に注力していく。

じつたいちようさ 実態調査アンケート

とうセンターへのつういんちゆうだんりゆう、また、げんざいしかいりようきかんじゆしんじゆうきようについて、しつもんさせていただきます。

せつもんかんじゃさまほんにんについておしえてください

(1) げんざいねんれい(じるし) (○印は1つ)

1. 0～9歳	2. 10～19歳	3. 20～29歳	4. 30～39歳
5. 40～49歳	6. 50～59歳	7. 60～69歳	8. 70歳以上

(2) せいべつ(じるし) (○印は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

(3) おもしいつかん・しょうがいふくさうかいとうか (複数回答可)

1. 知的能力障害	2. 自閉スペクトラム症	3. Down症候群	4. 脳性麻痺	5. てんかん
6. 四肢体幹機能障害(肢体不自由)	7. 聴覚障害	8. 視覚障害	9. 脳機能障害	
10. 内部機能障害(心臓疾患、腎疾患など内科的な疾患)	11. 精神疾患	12.		
13. その他 ()

(4) しょうがいしゃてちよううむ(じゆるい)ふくさうかいとうか (複数回答可)

1. しょうがいしゃてちようあり → じゆるいおしえてください(複数回答可)
1. 療育手帳(度)又は(A・B・C)
2. 身体障害者手帳(級)
3. 精神障害者保健福祉手帳(級)
2. しょうがいしゃてちようなし

- | | | | |
|----------------|-----------------|--------------------|---------|
| 1. むし歯の治療 | 2. 歯周病の治療 | 3. 入れ歯の製作 | 4. 歯を抜く |
| 5. 歯並びの矯正治療 | 6. 歯の溝埋め(シーラント) | 7. 歯垢・歯石の除去 | |
| 8. 歯磨き指導 | 9. 摂食嚥下機能療法 | 10. 言語聴覚士による言語聴覚療法 | |
| 11. 栄養士による栄養指導 | 12. その他 | | |

(3) 当センターに通院しなくなった理由(複数回答可)

- | | | |
|--|--------------------|----------------------|
| 1. 治療が終了した | 2. 現在口の中で気になることがない | 3. 行きたがらない |
| 4. 施設に入所した | 5. 施設の体制が変わった | 6. 歯科の通院に付き添える人がいない |
| 7. 患者様の体調が悪い | 8. 介護者の体調が悪い | 9. 自宅や職場・施設などから距離が遠い |
| 10. 希望する日時の予約がとりにくい | 11. 交通機関の便が悪い | 12. 通院に費用がかかる |
| 13. 設備に関して気になることがあった
(具体的に: _____) | | |
| 14. 障害に対するスタッフの対応について気になることがあった
(具体的に: _____) | | |
| 15. 希望する治療法を当センターでは実施していなかった
(具体的に: _____) | | |
| 16. 特に理由はない | 17. その他 | |

設問 4. 現在の歯科受診の状況について教えてください

- (1) 現在、患者様のお口の中で気になることはありますか？

1. あり → どのようなことですか？(複数回答可)

1. むし歯がある 2. 詰め物が取れている 3. 歯肉の腫れ・出血がある

4. 歯垢や歯石がたまっている 5. 入れ歯の不具合がある

6. 食べ方・飲み込み方に関すること

7. その他 []

2. なし

(2) 現在までに、他の歯科医療機関を受診しましたか？

1. はい → どのような歯科を受診したか教えてください(○印は1つ)

1. 地域の歯科診療所 2. 市や区の口腔保健センター 3. 総合病院の歯科

4. 歯科大学病院 5. その他 []

2. いいえ

※「はい」と回答した方は次のページの設問5に、「いいえ」と回答した方は設問6にお答えください

設問5. 設問4(2)で、「はい」と回答した方は、以下の設問にお答えください

(1) 新たに受診した歯科医療機関は、どのように探しましたか？(○印は1つ)

1. 以前通院していた歯科医療機関 2. 介護者の方が通院している歯科医療機関

3. 患者様または介護者の方が調べた 4. 家族・知人・友人からの勧め

5. かかりつけ医からの紹介 6. その他 []

(2) 新たに受診した歯科医療機関を選んだ理由(複数回答可)

1. 希望する日時予約がとりやすい 2. 自宅や職場・施設などから距離が近い

3. 交通機関の便が良い 4. 設備が整っている 5. 希望する治療法を実施している

6. 障害に対するスタッフの対応に満足している

7. その他 []

